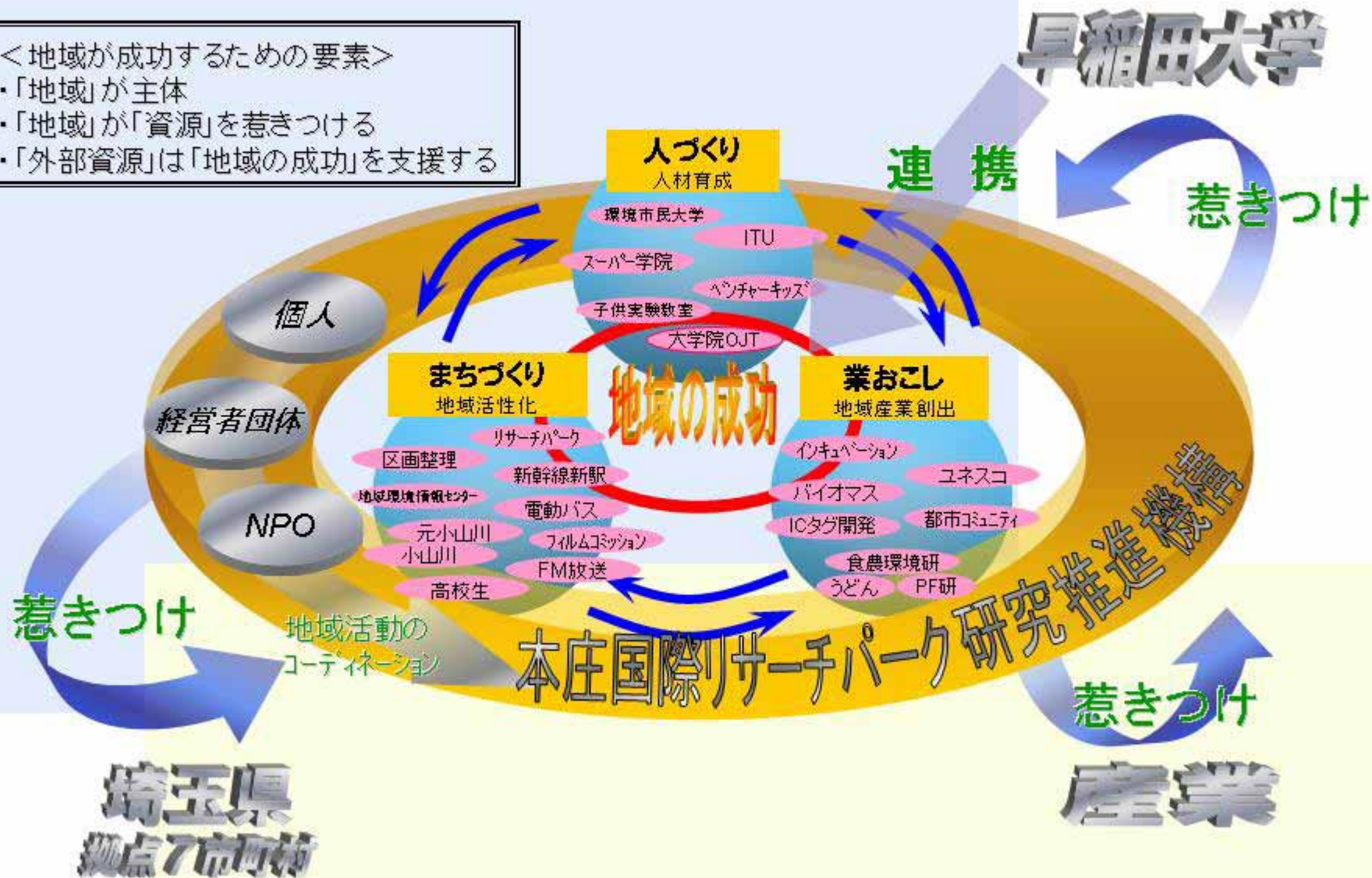


1-4. 本庄市における地域活性化型研究教育

<地域が成功するための要素>

- ・「地域」が主体
- ・「地域」が「資源」を惹きつける
- ・「外部資源」は「地域の成功」を支援する



1-5. 情報生産システム研究科(北九州学術研究都市) における高度技術者の養成

■ 北九州の“モノづくり”の伝統を生かした教育研究

100年を超えるモノづくりの伝統や、近年の最先端システムLSI産業など、地域に蓄積された高度な技術・ノウハウの活用

■ 企業との連携により、現場に強い高度技術者を養成

地域産業界の持つ豊富な人材と事例を生かした実践的な教育と、企業と大学院の垣根を外したりカレント教育

■ 産学官が一体となって、地域の新産業を創出

「北九州ヒューマンテクノクラスター構想」や「地域新生コンソーシアム研究開発事業」への参画など、研究成果を地域へフィードバックした新産業の創出に貢献

1-6. 「ナノ・IT・バイオ知財経営戦略講座」による 次世代知財経営リーダーの養成

■ プログラムの目標・位置付け

- ・科学技術振興調整費「新興分野人材養成プログラム」受託事業(2005年度～開講)
- ・知的財産戦略についての社会人再教育を目的として、実務経験者を対象に実践的なスキルアップ教育を実施
- ・即戦力かつ次世代の企業等の知財戦略のリーダー・実務家となり得る人材を養成

■ プログラムの体系・特徴

- ・従来からの知財マネジメントやライセンシングに加え、経営戦略と密接に結びついた知財評価・流通・投資手法を導入した講義と演習
- ・企業等と連携し、ナノ・IT・バイオなど最先端の科学技術分野に重点を置いた産学連携マネジメントとケーススタディ
- ・実践的な問題解決型の短期スキルアッププログラムにより、企業等の知財部、法務部、研究開発部等のプロフェッショナル(リーダークラス)、大学・公的研究機関・地方公共団体等のTLOリーダー、ベンチャーキャピタリスト、知財戦略に強い弁理士、弁護士、ジャーナリスト等の養成

2. 産学官連携の強化 と知的財産

2-1. 知的財産本部の目的と役割

■目的

本学の個性と総合力を活かして、学内外の各種組織等と有機的に連携しながら、知的財産に係る戦略的な体制を整備する

■役割

①知的財産戦略の企画・推進

②研究活動・産学官連携の推進

③知的財産の創出・管理・活用

④インキュベーションの推進

⑤知的財産に係る啓発